

ビルマとミャンマーのあいだ

— 変わる社会とどう向き合うか

長く続いた軍事政権時代から、幾多の試練を越えてようやく本格的に民主化の道をたどろうとしているビルマ（ミャンマー）。新たなビジネスチャンスだとして、日本をはじめ多くの多国籍企業が進出を模索する一方、この国の経てきた歴史、その重みや文化・社会の多様性は、ほとんど知られていません。ねばり強くはぐまれてきた民主化運動の実態や、日本とのかかわり、在日ビルマ人コミュニティの人びとの生きた声などをつうじて、ビルマ（ミャンマー）の課題と現状、可能性を学びます。同時に、私たちはアジアの友人としてビルマという国・ビルマの人びととどうつながりあえるかも考えていきます。

■ 2013年6月～10月 ■ 基本的に隔週火曜日 19:00～21:00

■ 全8回/定員30名 ■ 受講料：25,000円

※出かける回は交通費・食費などが別途かかります。

6/11

まずはきちんと知ろう！

— ビルマ（ミャンマー）の歴史と基礎知識

根本 敬 (上智大学外国語学部 教授/ビルマ市民フォーラム 運営委員)

「変化」が続くビルマ。でも、表面だけを追っても問題の本質は見えてきません。最初の回では、歴史や文化に関する基礎知識を学びながら、理解を深める準備をします。



●主著：『抵抗と協力のはざま 近代ビルマ史のなかのイギリスと日本』岩波書店 2010/『ビルマ独立への道 パモオ博士とアウンサン将軍』彩流社 2012
●参考文献：根本敬・田辺寿夫『アウンサンスーチャー 変化するビルマの現状と課題』角川oneテーマ21 2012

6/29 (土) 14:00～17:00

抵抗し続けた人びと

— 映像からみた民主化運動

田辺寿夫 ビルマ名：シュエバ Shwe Ba

(ジャーナリスト/ビルマ市民フォーラム 運営委員/NPO「さぼーと21」評議員/NHKビルマ語ラジオ番組・ニュース制作)



ビルマは民主化に向かって歩みはじめた。ここまで来たのは、民主国家、平和な国への国民のあくなき執念と、それを支援したDVBなど国外からのビルマ語メディアの活動があったからである。その歩みをふりかえって、今後への展望をえがきたい。

●主著：『ドキュメント ビルマ民主化運動 1988』梨の木舎 1989/『ビルマ「発展」のなかの人びと』岩波新書 1996 ●参考文献：田辺寿夫『負けるな！在日ビルマ人』梨の木舎 2008/根本敬・田辺寿夫『アウンサンスーチャー 変化するビルマの現状と課題』角川oneテーマ21 2012



政治囚となった人びと
写真提供：ビルマ市民フォーラム

7/9

アウンサンスーチャー

まなざしの先にあるもの(思想と実践)

根本 敬 (上智大学外国語学部 教授/ビルマ市民フォーラム 運営委員)

報道だけではわからないアウンサンスーチャーの思想と実践を取り上げ、彼女が国民とともにビルマをどのような国に変えたいと考えているのか、しっかり考えます。

7月または9月で調整中

グローバリゼーションの中のビルマ経済

— 発展戦略を考える

工藤年博 (JETRO アジア経済研究所 研究企画部 主任調査研究員)

「知られざる国」から「アジア最後のフロンティア」へ変貌し、世界の企業から熱い視線を送られるミャンマー。ミャンマーの発展は約束されたものなのか。同国の発展戦略と国際社会の関わり方を考える。

●主著：『ミャンマー政治の実像 軍政23年の功罪と新政権のゆくえ』(編著) アジア経済研究所 2012/『ミャンマー経済の実像 なぜ軍政は生き残ったのか』(編著) アジア経済研究所 2008 ●参考文献：尾高煌之助・三重野文晴 著『ミャンマー経済の新しい光』勁草書房 2012

9/10

日本のODAはどのように使われたのか

— これからの援助のあり方を考える

根本悦子 (NPO法人ブリッジエーシア ジャパン代表/事務局長)

「アジア最後のフロンティア」として注目を浴びるミャンマーで、日本はODAの再開を表明し、次々と開発に着手している。これまでのミャンマーの経験をふまえ、あるべき援助の形を提案する。

●参考文献：新石正弘『アジアに架ける橋 ミャンマーで活躍するNGO』コモンズ 2009/工藤年博編著『ミャンマー政治の実像 軍政23年の功罪と新政権のゆくえ』アジア経済研究所 2012



10/5 (土) 午後

在日ビルマ人コミュニティを訪ねる

ビルマ料理を味わいながら聞く、 在日ビルマ人の生きる「いま」

チョーチョーソー (ビルマ民主化ネットワーク)

1991年に、政治難民として日本に逃れてきたチョーチョーソーさん。それから20年あまり、母国の民主化を求める活動家として、在日ビルマ人コミュニティの世話役として、力を尽くしてこられました。コミュニティが直面している変化や今後の課題について、率直にお話いただきます。またコミュニティのたまり場でもあるレストラン「Ruby」で、美味しいビルマ料理も堪能しましょう！



10/29

帰国、憲法改正、教育の立て直し

— ビルマと日本の「これから」にどう向き合うか

田辺寿夫 ビルマ名：シュエバ Shwe Ba

(ジャーナリスト/ビルマ市民フォーラム 運営委員/NPO「さぼーと21」評議員/NHKビルマ語ラジオ番組・ニュース制作)

帰ろうか、様子を見ようか、日本に残ろうか、さまざまな思いでいま在日ビルマ人社会は揺れている。帰った場合にせよ、日本に残る場合にせよ、ビルマ人たちが、人権を保障される平和な社会の実現が必要である。そのために何をすればいいのかを考えたい。



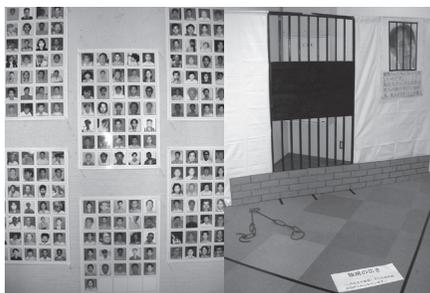
難民キャンプの子どもたち
写真提供：ビルマ市民フォーラム

10/15

日本の難民認定の実情 最前線からの報告

渡辺彰悟 (弁護士/在日ビルマ人難民申請弁護団 事務局長/ビルマ市民フォーラム 事務局長)

日本はかつて難民鎖国といわれ、非常に高いハードルを設けて、難民申請者を拒否してきました。ビルマの民主化が進展していくかにも見えるなか、今後、日本での庇護はどう進み、どう変化していくのか、ビルマ以外の難民申請者の保護の実態や、日本の難民受容れはどうあるべきなのかを語ります。



政治囚となった人びと/独居の再現
写真提供：ビルマ市民フォーラム

PARC 自由学校が終わったら・・・

おいしい料理と お酒で盛り上がりましょう！

自由学校の楽しさは、クラスの中での講義や議論はもちろんですが、終了後に講師や受講生と飲んだり食べたりしながらの交流会もその一つ。ぜひ誘い合って、クラスの外でも大いに盛り上がりましょう！



中国料理 王府酒家

単品はもちろん、四川辛々コースや北京ダックコースなど、充実した本格中華がリーズナブルなお値段でたっぷり味わえます。昼間のランチメニューも充実しています。大小宴会から貸切宴会(40～64名様)まで、用途に合わせたお部屋をご用意いたします。



〒101-0063 東京都千代田区神田 淡路町1-1 神田クレストビルB1
E-mail: info@wanfushuka.co.jp
http://www.wanfushuka.co.jp

◆ご予約は… TEL: 03-3258-9156 E-mail: info@wanfushuka.co.jp